



新鮮でみずみずしい！

トマト部会の出荷が最盛期を迎えます！

【3月中旬／碧南市内で収穫風景を紹介します】

JAあいち中央トマト部会（部会長：石川厚志）の出荷が3～5月にかけて、最盛期を迎えます。

碧南南部地区では昭和30年代からトマト需要の高まりとともに生産が行われてきました。土壌や気候がトマト栽培に適しているため、みずみずしく、あっさりとした食味でたくさん食べることができます。



果実が重ならないよう収穫します

同部会の生産者の平均年齢は49歳と若く、新品種への挑戦や先進的な技術の導入にも積極的に取り組んでいます。今年も新品種「桃太郎ネクスト」を試験的に取り入れており、さらなる収量・品質の向上を目指しています。2020年には10年後の将来を部会で考え、選果レーンの一部リニューアルも図っています。

2021年産は、定植後の高温で着果が少なかったものの、その後気温の変化と共に回復。最盛期には品質良好なトマトが日量3.5トンほど出荷されます。

JAあいち中央トマト部会

部会員：9人
栽培面積：約4.3ヘクタール
出荷時期：10月上旬～7月上旬
最盛期：5月～6月頃
総出荷量：約550トン（予定）
流通先：中京市場を通じ、大手量販店で販売



2020年度から
一部リニューアルされた選果レーン

<メディア対応日>

日時：3月中旬

※日時は確定し次第、後日ご連絡いたします。

場所：碧南営農センター内トマト選果場

（碧南市港本町4-40）

※当日はハウス内でトマトの収穫作業、集荷場で選果レーン稼働の様子をご紹介します。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

JAあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL:0566-73-5504／携帯:080-3667-3853／E-mail:kouhou@jaac.or.jp